

赤こんりポート

松村美沙枝リポーター



元旦にしか見られない景色 近江鉄道の心遣いに感謝

毎年八幡山ロープウェイでは、頂上で初日の出を楽しむ人のため、元旦のみ朝の6時から運行をしています。たくさんの方が夜明け前から山頂に向かい、今年も美しい初日の出を参拝することができました。

さらに、乗客には先着順で地元和菓子のプレゼントもありました。毎年とのことなので「当たり前」と感じがちですが、年始の早朝に運行いただく心遣いに、改めてありがたみを覚えた元日でした。

赤こんりポート

渥美勉リポーター



元気いっぱい、笑顔あふれる子どもたちの学び舎 フリースクール「Since」

フリースクールをご存じでしょうか。不登校の子どもたちに学習・教育・体験活動を行っている民間の施設です。安土駅から徒歩5分ほどにある「Since」もその1つ。滋賀大学教育学部出身で20代のメンバーが運営しています。拠点では、元気いっぱいに鬼ごっこする子、当番のお掃除を張り切って頑張っている子、ゲームに熱中している子など、学年も居住地もバラバラな子どもたちが仲良く楽しそうに過ごしていました。スタッフの門脇真斗さんは「不登校の子が急増する中で、いろいろな選択肢があることを知ってほしい。地域の人にもどんどん参加してもらい、一緒に子どもたちを育てていけたらうれしい」と語ってくれました。定期的に誰でも参加できるイベントを実施しています。興味のある人はぜひ、参加してみたいかがですか。



赤こんりポート

馬場利男リポーター



世界に1つだけのキャラクターを粘土で作ろう！

武佐町の廣濟寺本堂で粘土細工の講座が12月2日に行われ、地域の住民3家族が参加しました。

大阪芸術大学在学中からデザイナーとして活動されている、草津市在住の粘土造形作家・山本留美さんを講師に迎えました。参加者は用紙にこれから造るキャラクターを描いたあと、丸い粘土を下地に、カラー粘土を伸ばして貼ったり、細かく切ったり色づけしたりして、世界に1つだけのキャラクターを相談しながら、ワクワクして作り上げました。細かい所までこだわった作品は家庭で飾られ、一家の思い出になることでしょう。

会場を提供した廣濟寺の武智子さんは「本堂前の庭は、春には桜の花が、秋にはイチョウの木が綺麗ですので、また見に来てください」と話していました。

赤こんりポート

東恵子リポーター



心に響くボーダーレス音楽

どこか懐かしい音色が聴こえてきました。インドネシアの民族楽器「アングルン」と、沖縄の「三線」が奏でる音楽でした。演奏しているのは、八幡西中学校1年・森下綾乃さん(左・アングルン)と同校2年・安川慈恩さん(右・三線)です。森下さんは学校の吹奏楽部でトランペットを担当。毎年3月に開かれる市内中学・高等学校吹奏楽部合同「7色の音楽会」に向け練習に励んでいます。陸上部に所属する安川さんは、夏季総体出場を目指し、日々練習を積み重ねています。いきいきと音楽のある暮らしを楽しみながら中学生生活を送っています。

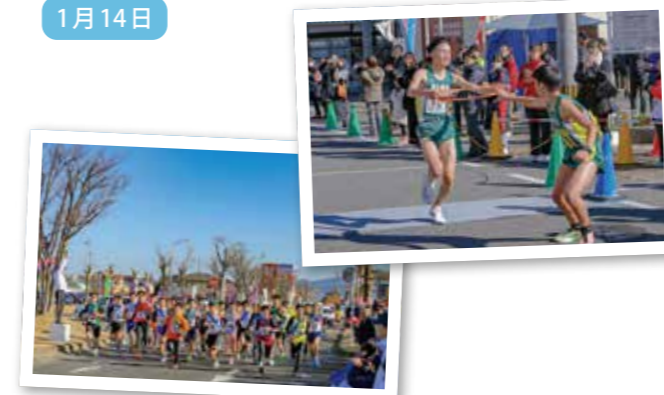
1月3日



天下泰平と五穀豊穡を願って 勧請縄を設置

安土町内野にある八幡神社の氏子20人が、昨秋の収穫時期に残しておいたもち米の稲わらを使い、約14メートルの勧請縄(かんじんなわ)を結び上げました。その後、神社の鳥居から南へ約100メートル付近の、集落のかつての結界にあたる木製の鳥居型アーチに渡しかけました。勧請縄は、集落内の魔除けとして12月初旬までのほぼ1年間設置され、翌年の小正月の左義長で、町内のしめ縄や書き初めなどと共に燃やされます。内野自治会長の畑基造さんは、「例年通り勧請縄が完成してほっとしている。町内の皆さんが安全に過ごせるようお願いしたい」と話していました。

1月14日



新春恒例 近江八幡駅伝競走大会

「第70回記念近江八幡駅伝競走大会」が開催され、52チームのランナーが頂点をめざしました。学区対抗の部と男子の部は、市役所前をスタートとする31.2kmのコースを、女子の部と中学の部は、市立運動公園前をスタートとする19.9kmのコースを疾走。夫婦都市の盟約を結ぶ静岡県富士宮市から「上小泉区」と市立富士根南中学校、市立富士宮第四中学校の3チームも参加しました。

岡山学区チームの松村有剛さんが選手宣誓を行ったあと、走者は市民らの熱い声援を受けながら、新春のまちなみや琵琶湖畔でタスキをつなぎました。市内の「学区対抗の部」と「中学の部男子」の最高位のチームは、2月11日に富士宮市で開催予定の「富士山世界遺産登録10周年記念第74回富士宮駅伝競走大会」に出場予定です。

12月17日



マントヴァを感じる クリスマスコンサート開催

本市の姉妹都市であるイタリア・マントヴァ市で、国立音楽院弦楽団の首席ビオラ奏者を務めた森脇崇(たかし)さんら4人が演奏する「クリスマス弦楽四重奏コンサート」が旧伴家住宅で開かれました。コンサートは、野外で聞くマントヴァのスタイルにならない、室内でも観客がコートと手袋を着用したまま行われました。パッヘルベルやバッハ、プッチーニのほか、作曲家のジーノ・メスコリ自身が編曲を行った弦楽四重奏版の「愛のおとずれ」や日本初演の「アモーレ・スクーザミ」が演奏されました。参加者は美しい音色に聞き入り、曲が終わるごとに大きな拍手をおくっていました。

12月22日



仲間と一緒にマルシェを楽しむ Den-en マルシェ開催

(福)おうみ福祉会の第2作業所・きみいろで「Den-en マルシェ」が開催されました。会場には、食堂ヤポネシアやふれあい工房、sucreなど市内から10店舗が参加したほか、岡山小学校4年生がふるさと学習で作成した、おうみ作業所の歴史をまとめたポスターを展示。風が強くて寒い中でしたが、たくさんの方が来場していました。小学校の終業式でもあったため、小学校の先生や生徒も遊びに来ていました。野村真愛(まさよし)所長は「きみいろには、カフェ・Den-en Kitchenも併設しています。マルシェをきっかけに、さらに地域の人に気軽に寄っていただける場所になれば」と話していました。